

教委だより

No.437



令和5年7月21日

編集発行 富山県教育委員会
発行人 教育企画課長



教育長の訓辞



辞令を受け取る北河琴教諭



辞令を受け取る長谷川隼也教諭



宣誓を行う出町美翠教諭

新規採用教職員339名に辞令交付

県の新規採用教職員辞令交付式が3月31日（金）に富山県教育文化会館で行われ、339名が教職員としての第一歩を踏み込みました。

式では、代表者の北河琴教諭（氷見市立窪小学校）と長谷川隼也教諭（伏木高等学校）が辞令を受け取った後、出町美翠教諭（となみ総合支援学校）が「全体の奉仕者として、誠実かつ公正に職務を執行する」と宣誓しました。

萩布教育長は、「教師とは、創造的で、誇り高く、魅力的な仕事です。楽しむ心を忘れず、自分自身のウェルビーイングも大切にしながら、長い教師人生を、子供たちの笑顔と共に歩んでいってもらいたい」と訓辞しました。

● 令和5年度 採用状況は次のとおりです。

| | |
|-------------------------|------|
| ◆教員（養護教諭名、栄養教諭名を含む）331名 | |
| 小学校 | 162名 |
| 中学校 | 69名 |
| 義務教育学校 | 3名 |
| 高等学校 | 41名 |
| 特別支援学校 | 56名 |
| ◆実習助手 | 6名 |
| ◆寄宿舎指導員 | 2名 |
| ◇合計 | 339名 |

就任のあいさつ

教育に携わることとなり…。

理事・教育次長 水落 仁



このたび理事・教育次長に就任しました水落です。教育委員会での仕事は初めてとなります。もとより微力ですが、富山県教育の発展のため全力を尽くしてまいります。

とは言ったものの、私の学生時代は言うに及ばず、私の子供たちが学校生活を過ごしてきた10年ほど前とも教育環境は大きく変化しています。コロナ禍という背景もあり、GIGAスクール構想も一気に推進され、今や子供たちの手には一人一台タブレットがある状況。

かつて電話が一人一台（携帯）、そのうちにPCに匹敵するスマホが一人一台という劇的な変化だったと思えることが、次々にやってくる時代。

こうした変化の激しい予測困難な時代、また、多様性が尊重される＝価値観がバラバラという状況でどういった教育を実施するのか。教育現場にも変えるべきもの、変えてはいけないものの判断が必要となってきているのではないのでしょうか。

これまでの教育県富山の良き伝統をしっかりと受け継ぎ、発展させながらも、未来を担う子どもたちが不確実な時代を確実に生き抜いていけるような教育環境が整うよう、いろんなことに取り組んでいきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

新任室課長のあいさつ

ウェルビーイングを実現する教育環境の整備充実に向けて

参事・教育企画課長 福島 潔



本県では、社会環境が大きく変化する中、昨年3月に「教育振興基本計画」を策定し、教育を通じた「全ての県民が生き生きと自分らしく暮らせるウェルビーイングの向上」を目指し、取組みを進めているところです。

こうした中、先般、本県において開催された「G7富山・金沢教育大臣会合」においても、「全ての子供の可能性を引き出す教育の実現」などについて議論が交わされ、子供たち一人一人のウェルビーイングを実現するための教育環境の重要性が改めて確認されたところです。今回の大臣会合の開催を契機に、教育環境の整備充実に向け、基盤となる学校施設やICT環境の整備、STEAM教育の先駆けとも言える「とやま科学オリンピック」の開催など、ハード・ソフト両面から今後さらに取組みを進めてまいります。皆様よろしくお願いいたします。

人生100年時代『ふるさと富山』の学び

生涯学習・文化財室長 辻 ゆかり



県庁南別館4階の最西端に位置する当室では、生涯学習振興事業の企画・調整や青少年教育、家庭・成人・女性・社会教育、文化財の保存・活用に関する業務を行っています。伝統行事が数年ぶりに通常開催され、社会教育関係諸団体の方々からは活動を盛り上げようという意気込みが伝わってきます。私事で恐縮ですが、昨年高校の同級生が一時帰省した際、カレッジ講座や曳山祭りなどに誘いました。後日「あの後図書館でもいろいろ調べたわ。富山、すごいわ。ふるさとなのに知らなかったわ。」と熱く語ってくれました。

人生100年時代の今日、幅広い県民の学びのニーズに応える切り口として「ふるさと富山」は欠かせないと思えます。大人たちの学びの姿が子どもたちの学びを支え、つながり発展していくことを願い、力を尽くしてまいります。よろしくお願いいたします。



本課は、学力向上や教育指導体制の充実、幼児教育の充実、いじめ・不登校等への対策の充実、児童生徒の就学援助などに取り組んでいます。

近年、社会の変化が加速度を増し、より複雑で予測困難となってきています。

そうした中、学校教育を取り巻く環境は激しく変化していますが、子どもたち一人一人のウェルビーイングを支え、子どもたちがたくましく未来を切り拓いていってくれるよう、本県教育の充実、発展に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

令和6年度富山県公立学校教員採用選考検査の実施について

たくましく生きる力を持った“富山の子ども”をはぐくむため、意欲と情熱のある人を求めています。
 <検査の概要>

1. 受検区分

〔一般選考〕と〔特別選考〕（「社会人経験A」「社会人経験B」「教職経験」「特定資格」「国際貢献」「スポーツ実績」「障害者」「大学推薦」）

2. 今年度実施の教員採用選考検査の変更点

- ①一般選考の小学校において、大学3年次で第1次検査受検を可能としました。
- ②特別選考「大学推薦」において、中学校・高校「工業」「情報」「技術」に加え、「家庭」「農業」「水産」の志願者を対象としました。また、中学校・高等学校「工業」「情報」において、富山大学、富山県立大学の県内各大学院からの推薦による教員免許状を要しない修士学位取得（取得見込）者向けの推薦を受け付けました。
- ③受検教科に「書道」「看護」を追加しました。
- ④第2次検査で実施している個人面接において模擬授業を廃止しました。
- ⑤合格者を「名簿登載A」「名簿登載B」とし、「名簿登載B」については、令和6年度採用者を除き令和7年度採用としました。

3. 志願状況

| | 小学校 | 中学校 高等学校 | 特別支援 学校 A | 特別支援 学校 B | 養護教諭 | 栄養教諭 | 計 | |
|------|--------------|-------------|--------------|--------------|------|------|--------------|--------------|
| 一般選考 | 292 (202) | 339 | 23 | 12 | 53 | 14 | 733 (643) | 848 (758) |
| 特別選考 | 38 | 59 | 10 | 2 | 5 | 1 | 115 | |
| 前年比 | +85 (△5) | +13 | △4 | △7 | +10 | △5 | +92 (2) | |

4. 検査期日

第1次検査：令和5年7月15日(土)・16日(日)

第2次検査：令和5年8月19日(土)・20日(日)

5. 合格発表

第1次検査合格者の発表：令和5年8月中旬まで

合格者（名簿登載者）の発表：令和5年9月下旬まで

6. 採用予定人数

一般選考・特別選考合わせて300名程度

（特別選考「障害者」若干名を含む）

（令和6年度採用とならなかった場合に令和7年度採用となる「名簿登載B」の人数を含む）

G7 富山・金沢教育大臣会合

学びの未来をはじめよう!



富山 金沢
教育大臣会合
G7 EDUCATION MINISTERS' MEETING
IN TOYAMA AND KANAZAWA

5月12～15日、広島サミットに先立ち、富山県と石川県で教育大臣会合が開催されました。国内開催の閣僚会合で初の複数自治体による共催となりました。子供たちの活動や会合での取組をふまえ、当事者意識を持って、学びの未来をはじめましょう。

とやま探究フォーラム(1/28)

社会や地域の課題解決をテーマに、探究的な活動を進めてきた高校や特別支援学校の代表生徒がその成果を発表し、また、交流会を通じて生徒どうしのつながりを深め、探究的活動の一層の充実を図りました。



エクスカージョン(5/12)

各国の政府関係者が富山市芝園小学校、八尾中学校を訪れました。



富山・金沢子どもサミット(3/19)

G7 富山・金沢教育大臣会合の公式サイドイベントとして、富山・石川で共同開催しました。富山県の中高校生30名と石川県の中学生24名が、自分と社会のより良い未来について話し合い、宣言を採択、文部科学省等に提出しました。



教育講演会(4/15)

横浜創英中学・高等学校長の工藤勇一氏の講演、トークセッションを行いました。



子どもサミット宣言書の意見交換会(5/13)

子どもサミットに参加した富山市・金沢市の中学生の代表10名が、各国の大臣や国際機関の関係者と意見交換を行いました。



世界の食を楽しむG7サミット給食(4～5月)

県立特別支援学校では、G7参加国にちなんだ給食を楽しみながら世界の文化や食について学びました。富山市内の小中学校・幼稚園でも同様の取組がありました。

県立図書館・富山市立図書館連携多文化理解推進事業(4～5月)

G7参加国に関連した企画展示や展示本の著者によるトークイベントやワークショップを開催しました。



G7教育大臣会合特設サイト

富山駅では、中央農業高校、小矢部園芸高校による花苗装飾、石庭制作、夕食会では、南砺平高校の演舞がありました。また、石動高校、富山国際大学付属高校の新聞部による取材・広報活動など、多くの子供たちがG7 富山・金沢教育大臣会合に関わりました。県の広報誌やHP等をぜひご覧ください。



G7教育大臣会合動画

令和5年度 教育長訓示

4月10日（月）、教育長から県教育委員会事務局等の職員に訓示がありました。（オンライン配信）

荻布教育長からは、「ウェルビーイング向上のための自律性、当事者意識の育成」「多様性と包摂性の尊重、心理的安全性の確保の徹底」「真に大切な仕事をするための働き方改革の推進」の3点について話がありました。

「ウェルビーイング向上のための自律性、当事者意識の育成」では、生徒自身が「なぜ学ぶか、何をどう学んでいきたいか」を考える姿をサポートし、生涯にわたる学びの基礎をつくることが学校の役割であること、「多様性と包摂性の尊重、心理的安全性の確保の徹底」では、教育に関連する分野の新しい知識や科学的知見を、教員の研修や家庭教育等にも積極的に取り入れ、児童生徒の心理的安全性を確保すること、「真に大切な仕事をするための働き方改革の推進」では、教育現場の働き方改革を進め、自分らしく生き生きと働くことができ、充実した人生を送れる職場づくりが大切であることを示し、児童生徒の自律性と当事者意識の育成を重視するとともに、職員各自が当事者意識をもって改善・改革に取り組んでほしいと述べました。

最後に、新しい教育に向けた挑戦は各現場で始まっており、若い職員の挑戦や教育現場の新たな挑戦を応援していく教育委員会でありたい、そして教育県富山の伝統の上に、富山の新しい教育を創造していけるよう、共に力を合わせて取り組んでいきたいと訓示をしめくくりました。

とやま科学オリンピック2023

—むずかしいところがおもしろい— ～考えよう楽しもう 科学の世界～

- 【中学校部門】
1. 実施日 8月5日(土) 9:10～11:20
 2. 会場 魚津高校、富山中部高校、高岡高校、砺波高校
 3. 実施方法 個人で筆記問題に取り組む

- 【高校部門】
1. 実施日 8月10日(木) 9:00～12:20
 2. 会場 富山大学理学部、県総合教育センター
 3. 実施方法 2人1組ペアで共通問題、選択した数学・物理・化学・生物の筆記・実験・観察問題に取り組む



昨年度の中学校部門



昨年度の高校部門化学分野

ぜひ、ホームページ
をご覧ください。



とやま科学オリンピックHP

親子でチャレンジ小学生体験教室

1. 実施日 8月19日(土) 13:00～16:30
2. 会場 富山県総合教育センター
3. 対象 小学校、義務教育学校、特別支援学校5～6年生の親子
4. 内容 前半：「風船ホバークラフト」の製作・体験
後半：ドローン体験、マイクラフト（教育版）体験



風船ホバークラフト製作

ストレスチェックについて

— 教職員のメンタルヘルス —

- ・自分で心の健康状態をチェックすることは、ストレスへの気づきを促し、健康管理や精神疾患の未然防止に役立ちます。ストレスチェックを受検し、自分の健康は、まずは自分で守りましょう。

※実施期間：令和5年7月3日～令和5年8月10日

心のセルフチェックシステムのご案内

- ・公立学校共済組合では、教職員の方が365日いつでもできる心のセルフチェックシステムをインターネットで提供しています(利用時間6:00～24:00)。
- ・初回の利用時は、「共済フォーラム」「福利とやま5月号」に記載されているログインID・パスワードでログインしてください。

<https://kokoronokenkou.jp/Stress/LoginPortal.aspx>

教職員・心の健康管理医による個別相談

- ・県教育委員会と公立学校共済組合富山支部では、「教職員・心の健康管理医」として専門医に委嘱し、無料の個別相談を実施していますので、お気軽にご相談ください。

※利用について詳しいお問合せは、

保健体育課 (076-444-3460)

または 公立学校共済組合富山支部 (076-432-7176) まで

令和5年度富山県立高等学校定時制の課程 単位制後期 入学者選抜

秋入学のチャンスがあります！

- 実施校 新川みどり野高等学校、雄峰高等学校、志貴野高等学校、となみ野高等学校
- 志願期間 9月1日(金)から9月5日(火)までの間(日曜日及び土曜日を除く。)、毎日午前9時から午後4時までとする。ただし、9月5日(火)は正午までとする。
- 検査実施期日 9月12日(火)
- 合格者の発表 9月14日(木)午後0時30分

連絡先 県立学校課 高校教育係 TEL (076)444-3450 内線4615



みんなで食育の充実を

— 学校における食育を推進し、「元気とやまっ子」の育成を目指しましょう！—

◆◆◆「毎日しっかり朝ごはん」運動◆◆◆

- ・朝食を食べる習慣を身に付け、朝から元気に活動する児童生徒の育成を目指し、平成19年度より「毎日しっかり朝ごはん」運動を実施しています。
- ・朝食の役割や大切さを啓発するため、毎年、県内全小・中・義務教育・高・特別支援学校に「食育カレンダー」を配付しています。また、9月からの指導に活用できるように、8月中に小学1年生用食育教材「食育ランチマット」を配付しています。
- ・「とやまゲンキッズ作戦（健康づくりノート）」の調査項目から得られる朝食欠食率については、本県では「毎日しっかり朝ごはん」運動の継続した取組の成果が現れているものの、欠食を限りなくゼロに近付ける努力が今後とも必要です。「朝食内容」の栄養バランスについては、全小・中学生のうち、49.9%が「黄（炭水化物）・赤（タンパク質）・緑（野菜・果物）」、44.0%が「黄・赤」または「黄・緑」の朝食を摂取しており、計93.9%が体を目覚めさせ、脳を活発に働かせる「炭水化物とおかず」の組合せであることが分かりました。（令和4年度調査結果より）
- ・今後とも、児童生徒が栄養バランスのよい朝食摂取を心がけ、朝から元気に活動できるように、引き続き指導をお願いします。



食育カレンダー



食育ランチマット

◆◆◆栄養教諭等と連携し、学校の教育活動全体の中で食育の推進を◆◆◆

- ・食育の取組のさらなる充実に向け、昨年度、第4期富山県食育推進計画（令和4～8年度）が策定されました。児童生徒が望ましい食習慣を身に付け、健やかな心身と豊かな人間性を育むためにも、一層の食育の推進が望まれます。
- ・各学校では、「食に関する指導の全体計画」を基に、学校給食を生きた教材として活用する等、学校の教育活動全体を通じて、食に関する指導を組織的・計画的に推進されますよう、よろしくをお願いします。
- ・県内の小・中・特別支援学校等に毎年配付している「食に関する指導実践事例集」（学校給食指導者作成）には、給食主任と栄養教諭等が連携した実践事例を数多く掲載していますので、ぜひご活用ください。

◆◆◆第18回食育推進全国大会inとやま◆◆◆

- ・6月24日（土）25日（日）に、「第18回食育推進全国大会」が富山県（テクノホール）で開催されました。県栄養教諭等研究会や県学校給食会の出展ブースでは、富山県や地域の特色を生かした学校給食が紹介され、来場者は、工夫を凝らした献立に興味、関心を寄せていました。



教育研修部

令和5年度若手教員研修<初任者研修会・高等学校>から

6月に「協力校研修1」が校種別に実施されました。高等学校初任者向けの研修では、6月12日に上市高等学校、6月13日に桜井高等学校、6月19日に大門高等学校を会場に、各校の学校概況説明や施設見学の後、先輩教員による授業の参観、教科別研究協議を行いました。初任者にとって勤務校以外の教員の授業を見る貴重な機会となっただけでなく、同じ教科の初任者同士で日頃の疑問や悩みを共有し、先輩教員からアドバイスをいただくことができ、今後の授業づくりに役立つ充実した時間となりました。受講者からは、「授業の振り返りを行ったり、他者の意見を聞いたりすることの重要性を感じた」「生徒が自分自身で考えたり、発言したりできる機会が必要なことに気が付いた」「生徒の学ぶ力や個性を引き出せる授業を行っていきたい」などの声が聞かれました。

9月以降、初任者の授業をもとに協議する「協力校研修2」が予定されています。これまでの研修を生かした授業実践が見られることを期待しています。



授業参観



教科別研究協議

科学情報部

理科教育講座（自然観察）

本研修は、市町教育センターと協業で年間4回、小学校・中学校・特別支援学校の先生方を対象に実施しています。

野外観察のポイントや指導法を現地研修で体験しながら学んでもらうことを趣旨とし、身近な地域の土地や川の様子を観察、身近に見られる植物・動物の観察、地層・岩石の観察等を行っています。

勤務校の地域だけでなく、他の地域の自然を知り比較することは、児童生徒の指導に役立ちます。実施地域以外の先生方も、ぜひ参加してください。

【本年度の研修】

入門コース半日：6月 6日 南砺市
 9月26日 滑川市
 入門コース1日：7月31日 氷見市
 中級コース1日：8月22日 魚津市
 （入門コースよりやや専門的な内容）



入門コース半日 南砺市の様子 「地層の観察」(左) 「植物の観察」(右)

教育相談部

本人や保護者、学校関係者からの相談をお受けします

- 対象は富山県内の小学生、中学生、高校生です。
- 発達に心配のある乳幼児についても相談をお受けします。
- 電話相談と来所相談があります。（来所相談は電話での予約が必要です）

月・金曜日： 13:00～17:00
 火・水・木曜日：9:00～17:00
 E-mail: soudan@tym.ed.jp (受付のみ)

【学校生活等に関する相談（子ども育成）】
 相談専用 TEL (076)444-6167

【発達に関する相談（特別支援教育）】
 相談専用 TEL (076)444-6351

不登校・学業・進路

- ・登校しぶりがある
- ・学校生活になじめない
- ・授業についていけない
- ・進路について悩んでいる など

発達・学業・就学

- ・言葉が遅れている
- ・書くことに時間がかかる
- ・体の動きがぎこちない
- ・就学や進路について悩みがある など

人間関係・気になる行動・家庭教育

- ・友達とトラブルになる
- ・特定の物や事柄にこだわる
- ・順番を待つことが難しい
- ・急に予定が変わるとパニックになる
- ・生活態度や習慣が気になる
- ・友達をたたく等の行動があり、対応に悩んでいる など



第1回とやま親学び推進協議会を開催

5月30日（火）に開催した「第1回とやま親学び推進協議会」では、小・中学校、幼稚園や保育園、PTA、市町村教育委員会、推進リーダー等の代表者が集まり、今年度の活動計画等について情報を共有しました。

各団体からは、「今年度は、さらに多くの保護者が参加できるように工夫したい」「学校行事等に合わせて、短時間でも親同士や先生方と話し合う場を設けたい」などの意見が出されました。

県教委では、親学び講座をコーディネートする推進リーダーの養成や、親学びや子育てに関する情報発信を行っています。県HP「子育てネッ！とやま」には、親学び講座で使用する「親を学び伝える学習プログラム」の55事例を掲載しています。このプログラムを活用しながら、子どもたちの未来のために、親同士のつながる機会の充実を図っていきます。



第1回とやま親学び推進協議会



ぜひご活用
ください！

「子育てネッ！とやま」LINE公式アカウント

第72回富山県民謡民舞大会 「ふるさと民謡民舞まつり」

入場
無料

日時 令和5年11月12日（日）12：30開演（12：00開場）
場所 ふくおか総合文化センター Uホール（高岡市福岡町大滝44）
主催 富山県民謡民舞連盟（生涯学習・文化財室）
（一社）富山県芸術文化協会

富山県民謡民舞連盟では、本年度も富山県民謡民舞大会を開催します。

大会では、県内に伝承されている民謡民舞が一堂に会し、日頃の練習成果を発表します。

詳しいお問合せは、連盟事務局（生涯学習・文化財室 TEL：076-444-3456）まで。ふるさとの民謡民舞を、ぜひ、ご覧ください。



過去の大会より

令和5年度「高志の国文学」 情景作品コンクール 作品募集

～時代を生きた先人のころをあなたの感性で表現しよう～

①文芸部門（散文・詩・短歌・俳句） ②美術部門 ③写真部門

美しく豊かな富山の自然や風土の中で育まれた富山ゆかりの「高志の国文学」に触れ、心に残る情景や心情を表現した中学生・高校生の作品を募集します。応募締切は9月4日（月）です。詳しい実施内容等については、募集要項や県のホームページをご覧ください。

<https://www.pref.toyama.jp/3009/20230606joukei.html>



昨年度 美術部門 高校生の部 知事賞
「ただいま」



昨年度 写真部門 中学生の部 知事賞
「大丈夫、渡れる…」

第40回「とやま賞」贈呈式

第40回「とやま賞」贈呈式が5月22日（月）パレブラン高志会館で行われ、学術研究等で顕著な業績を挙げた研究者等を称え、新田富山県知事が賞状と奨励金の目録を贈呈しました。贈呈式後には受賞者による記念講演が行われ、業績の内容や今後の抱負などを分かりやすくお話しいただきました。



「とやま賞」は、学術研究、科学技術、文化・芸術、スポーツの分野において顕著な業績を挙げ、かつ、将来の活躍が期待される個人または団体に贈られます。詳しくは富山県ひとりづくり財団ホームページをご覧ください。 <https://www.t-hito.or.jp/zaidan/toyamashou/>

第40回「とやま賞」受賞者（敬称略）

学術研究部門 【医薬分野】 福田 慎一（筑波大学）
【理工分野】 石割 文崇（大阪大学）
【人文社会分野】 山田 正明（富山大学）
文化・芸術部門 栗原 峻希（サン・カルロ歌劇場）
スポーツ部門 中山 楓奈（ムラサキスポーツ、龍谷富山高等学校）

